

平成29年度共生型地域福祉拠点推進セミナー

事例報告

# 「地域サロンの取り組み」

---

和寒町保健福祉課主幹 村岡 裕一

# 和寒町について



- ・面積 224.83km<sup>2</sup>
- ・人口 3,503人
- ・世帯数 1,689戸
- ・高齢者人口 1,513人
- ・高齢化率 43.19%

(平成29年3月31日現在)



# 自然の恵み野和寒町



作付面積・収量  
日本一の南瓜



食用種子向けペポかぼちゃ品種  
**「ストライプペポ」**

(2012年開発)



雪の下でおいしくなる  
『越冬キャベツ』  
和寒が元祖！



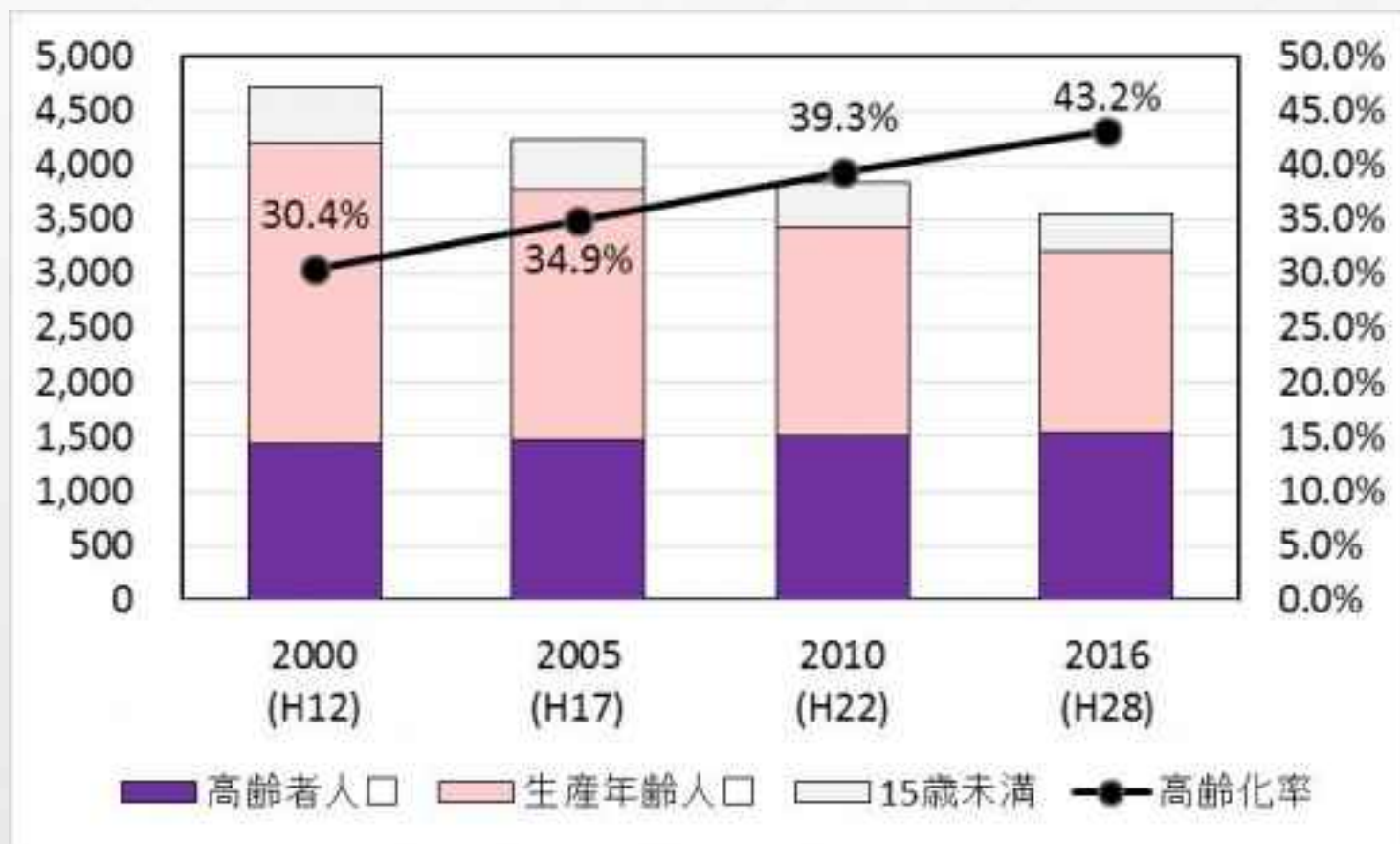
パンプキン  
フェスティバル

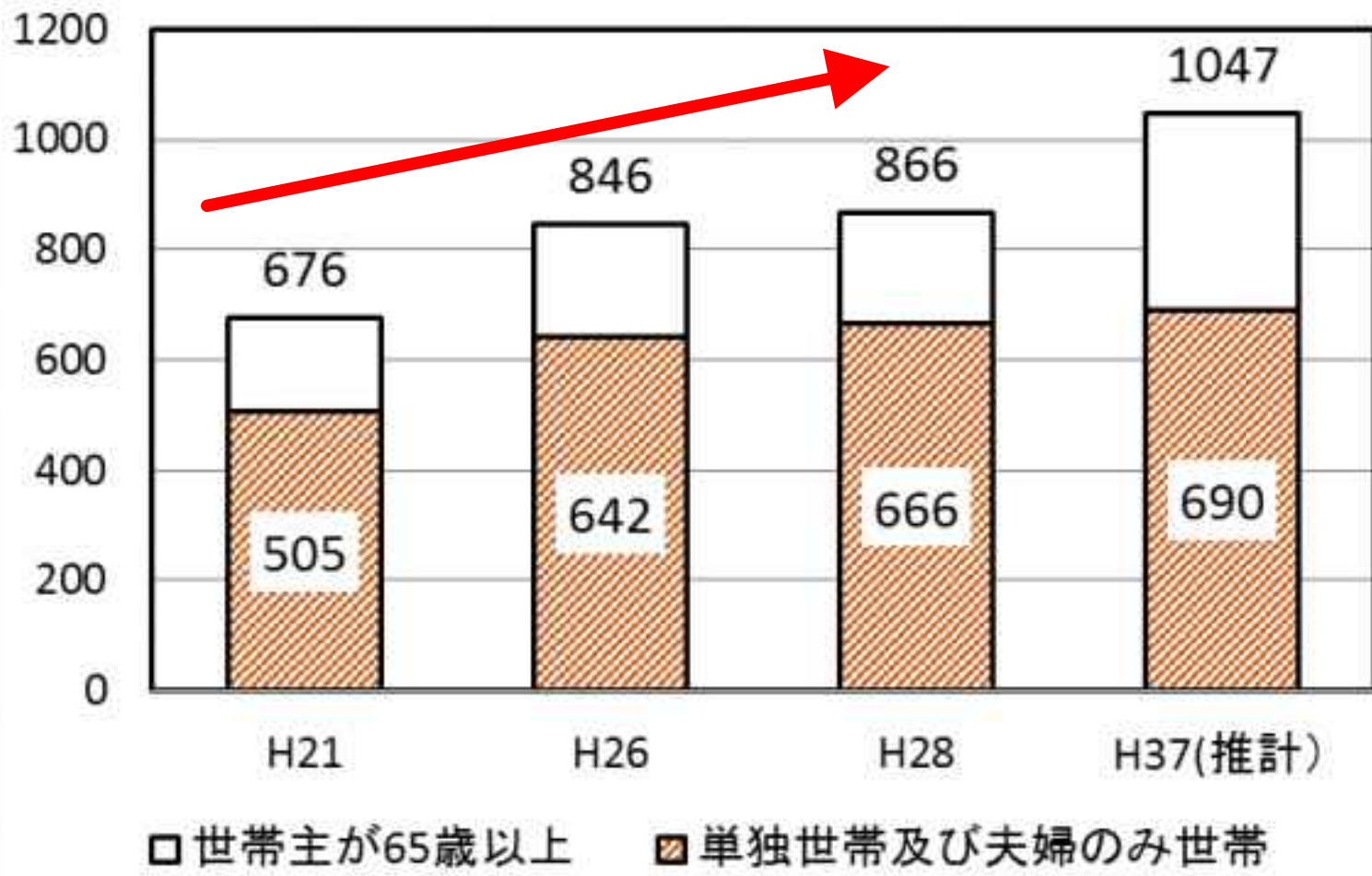


全日本玉入れ  
選手権

# 和寒町の現状

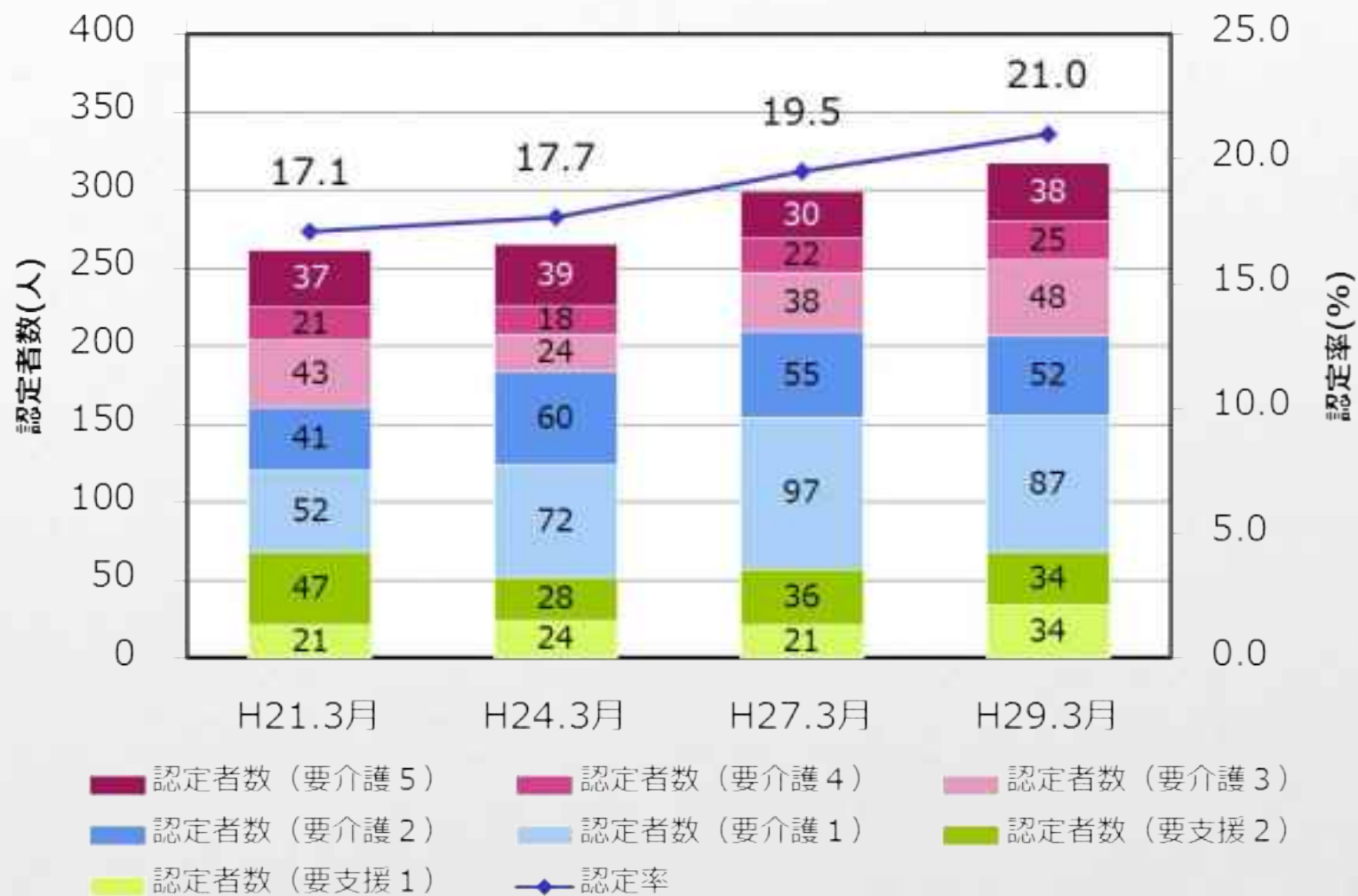
## 人口減少・高齢化の進行





独居高齢者・高齢者夫婦世帯の増加

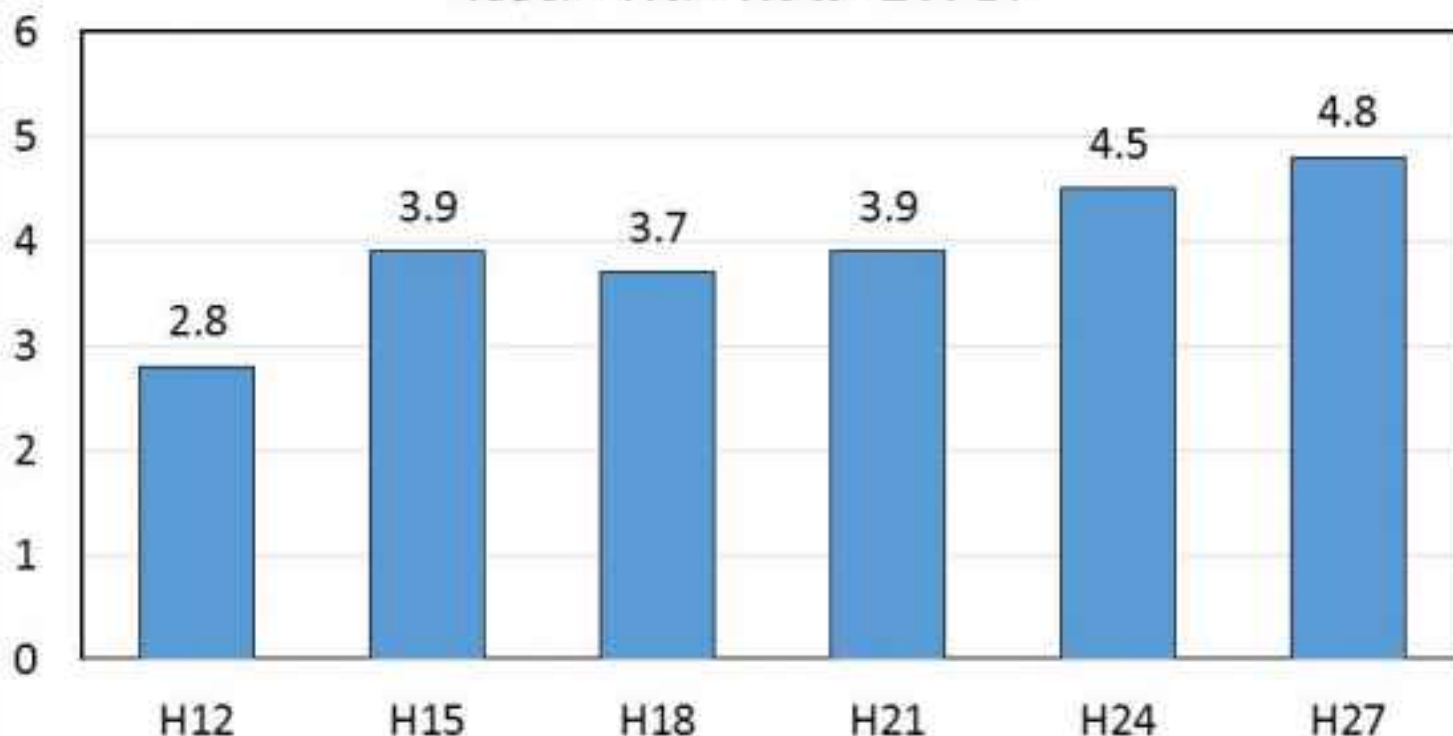




認知症高齢者の増加

(億円)

### 総費用(利用者負担を含む)



65歳以上が支払う保険料(基準月額)

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
H12~14	H15~17	H18~20	H21~23	H24~26	H27~29
3,384円	4,084円	4,000円	4,000円	4,500円	5,100円

## 介護保険サービス利用者の増加

# 和寒町の高齢者福祉サービス

## 〈介護保険サービス事業所〉

- ・ 訪問介護 ～ 1 事業所
- ・ 通所介護 ～ 3 事業所
- ・ 居宅介護支援事業所 ～ 2 事業所
- ・ 特別養護老人ホーム ～ 1 事業所（100床）
- ・ グループホーム ～ 1 事業所
- ・ 短期入所介護 ～ 1 事業所
- ・ 訪問看護 ～ サブステーション 1 か所
- ・ 福祉用具 ～ 1 事業所



# 和寒町の高齢者福祉サービス

## 〈住まい・生活支援〉

- ・おでかけハイヤー
- ・デマンドバス
- ・除雪サービス
- ・配食サービス
- ・入浴サービス事業
- ・おむつ購入費補助
- ・安全杖の無料配付
- ・介護機器貸与事業
- ・ふれ愛住宅補助



## 〈見守り・安否確認〉

- ・小地域ネットワーク事業
- ・安否確認訪問サービス
- ・緊急通報装置貸与事業
- ・わっさむキット(救急医療情報キット)

## 〈交流・介護予防〉

- ・ふれあい昼食会
- ・楽笑体操教室
- ・ひまわり運動クラブ
- ・口腔機能向上事業
- ・介護予防講演会

# 事業実施の背景

## ◆社会保障制度改革

〔平成27年4月 介護保険制度改革〕

### ①地域包括ケアシステムの構築

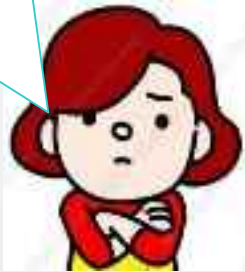
・団塊世代が75歳以上となる2025年(H37)に向け、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的に提供する体制づくり

### ②介護予防・日常生活支援総合事業

- ・地域の実情に応じて多様な主体が参画し、多様なサービスを充実
- ・予防給付の訪問介護・通所介護サービスを市町村事業へ移行。

# 不安と危機感の増大

サービスをつかえなくなる利用者は、どうなってしまうんだろう…



家族

サービスを使えなくなる人たちをどのように支えたら良いのだろうか…行政だけで支え続けていけるだろうか…



サービス事業者



行政

利用者が減ってしまう。経営は成り立っていくだろうか…

# 地域包括支援センターの思い

地域で支え合う仕組みづくりが必要。

作り手ではなく、使う人（町民）のニーズを大切にしたい。でも行政だけで展開していくのは知恵も人手も足りない。

地域の実情を理解し、協力してくれる住民が必要だ。

**住民が主役**



## (1) 介護事業所との意見交換会

地域を支えてくれている介護サービス事業者と  
地域課題を共有すると共にネットワークを構築

介護サービス事業所3か所  
社会福祉協議会(事務局・通所・特養)  
福祉係、ケアマネ、PT、保健師



⇒意見交換会でのファシリテーター役を依頼

## (2) わっさむの地域支え合いを考える講演会

平成26年7月15日(火)18:30~20:50 81名参加

### ●講演 「高齢社会と寒町を活力ある地域に」

旭川大学保健福祉学部コミュニティ福祉学科 林 芳治教授

**住民自身がアイデアを出し合って  
まちをつくりあげていく時代！**

### ●和寒町の現状について

奥山盛和寒町長

### ●各介護サービス事業所の

取り組みについて





### (3) 和寒町の地域を支えるための意見交換会

- 第1回意見交換会 『和寒町の良いところ、なくしてはいけないもの』  
8月5日(火) 18:30~20:20 48人
- 第2回意見交換会 『良いところを踏まえ、夢と理想を描く』  
9月2日(火) 18:30~20:30 41人
- 第3回意見交換会 『現実を見据え、和寒の課題とあったら良いもの』  
9月30日(火) 18:30~20:30 44人
- 先進地視察 10月20日(月)、旭川市・妹背牛町 16人
- 第4回意見交換会 『課題を踏まえ、住民・地域ができること、その他にゆだねること』  
10月28日(火) 18:30~20:30 47人
- 第5回意見交換会 『結果集約』  
11月12日(水) 18:30~20:30 43人



## 住民参加型高齢者等生活支援推進事業

参加者（実人数）60人（延人数）239人

○一般参加者 ～ 31人

老人クラブ、ボランティアクラブ、商工会、建設会社、民生委員  
地域の福祉役員、デイ職員など

○ファシリテーター ～ 10人

旭川大学社会福祉学部・林教授、社協事務局  
特養・グループホーム施設長、介護サービス事業者  
名寄保健所、上川総合振興局

○保健福祉課・地域包括支援センター ～ 19人

## 《和寒の良いところ》

「人柄や地域のつながり」 「災害が少ない。自然豊か」  
「福祉や公共施設が充実」 「道路・交通機関が充実」



## 《夢と理想》

**町民同士の“つながり”を大切にしていきたい**

そのために必要なもの・・・

**「安心して暮らせる環境」**

**「楽しみや生きがい」 「元気なまち」**

## 《課題》

- 買い物や除雪に不便を感じる
- 誰でも気軽に集える場所づくり
- 生活のちょっとしたお手伝いが必要



## 《課題を解決するためにできること》

地域住民一人ひとりが近所のこと、地域のこと、まちのことを考え、活動していくことが大切

**行政に頼り過ぎず、地域や身近なところで、自分たちができることから始めよう！**



# サロン開設に向けて ①地域住民主体の事例

意見交換会の参加者が自治会に持ち帰り、賛同してくれる協力者を集める。中心となったのは元自治会長

## ☆恵みヶ丘自治会

(117世帯・228人・高齢化率52%)

### 〈経過〉

平成26年12月8日 13人で発起人会  
平成27年2月28日 第1回準備委員会  
3月3日 第2回準備委員会  
3月17日 第3回準備委員会

### 〈方針〉

- ・自治会や老人クラブ行事もあるため、月1回の開催
- ・子どもも参加できるように土曜日に開設
- ・交流会や行事を行なっていく
- ・開設場所は自治会館 ・各班に1名の世話係を配置(10人)
- ・地域行事に参加しない人にも声掛けを





# 恵みヶ丘生きがいサロン



開始年月	平成27年4月
開催場所	東町地域センター
開催日時	毎月第1土曜日 13:00~15:00
対象者	恵みヶ丘自治会居住者
H28実績	12回 395人(平均33人)



# サロン開設に向けて ②社会福祉協議会主導の事例

社会福祉協議会を中心として設立準備を進める

## 〈経過〉

平成27年2月17日 発起人会を実施、15人参加

2月25日 開催場所として

「空き店舗（19坪）」の調査

→所有者に利用の快諾をいただく

3月12日 社協と有志の計4人と包括で話し合い

※会場の改修費用(内装資材、小上がり造作、トイレ、手すり設置) 13万円(一部社会福祉協議会から補助)



## 〈方針〉

- ・備品を徐々に集め、会場づくりとともに、一緒にサロンづくりを行なってくれるボランティアを募集 ※役員・ボランティア11人でスタート
- ・『気軽に立ち寄れる“おやすみ処”』がコンセプト  
(申込み不要、お買い物帰り、バス待ち等で利用してもらう)
- ・お茶やコーヒー、おやつを提供(100円自己負担)
- ・毎週金曜日、午前10時から午後3時まで実施



# サロン「おやすみ処」



サロン開設後は、ボランティアが中心に運営。  
社会福祉協議会は会計を補助



開始年月	平成27年5月
開催場所	旧金物店資材置き場
開催日時	毎週金曜日 10:00~15:00
対象者	どなたでも
H28実績	50回 1,007人(平均20人)

# サロンに対する和寒町の支援

## ①相談を受け付けます

サロンの運営や活動に関して、お気軽にご相談ください。

## ②サロンづくりのための出前講座を行います。

健康相談や講話、健康体操のアドバイスなどのご要望にお応えします。

## ③町内他地域で行っている情報を提供します。

サロン同士の情報交換の機会を提供します。 ※平成28年7月19日開催

## ④活動費の一部を助成します。

活動費及び会場使用料等の一部を助成します。

# 【なごやかサロン支援事業】

- ★対象となるサロン活動(全ての要件を満たすこと)
  - サロン運営組織に役員が3名以上いること。
  - 開催は月1回以上とし、  
1回当たりの利用者数10名以上を目標
  - 参加者から無理のない範囲で参加料を徴収すること
  - 特定の年代、趣味や活動に限定されたクラブ活動ではないこと。
  - 政治、宗教、営利を目的としないこと。

# 【なごやかサロン支援事業】

## ★補助対象費用及び補助金額

### ○補助対象費用

サロンの運営及び活動に直接必要な費用  
(アルコール類は対象外)

### ○活動費

\* 27年度は月額5,000円、回数の加算なし

基本額：月額3,000円

加算額：開催回数 × 2,000円 (月8回限度)

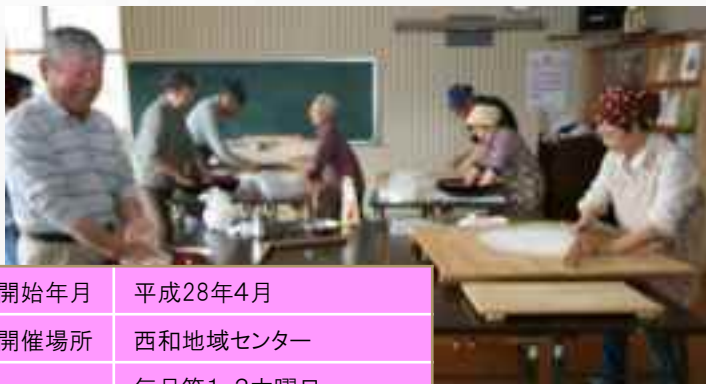
### ○会場使用料又は賃借料、光熱水費

月額10,000円以内



# 平成28年度に3つのサロンが開設！

## 辺乙部サロン



開始年月	平成28年4月
開催場所	西和地域センター
開催日時	毎月第1・3木曜日 9:00~15:00
対象者	西和福原自治会居住者
H28実績	19回 297人(平均16人)

## サロン「わかくさ」



開始年月	平成28年4月
開催場所	若草集会所
開催日時	毎月第4火曜日 10:00~15:00
対象者	若草自治会居住者
H28実績	12回 297人(平均25人)

## ほほえみサロン



開始年月	平成28年5月
開催場所	三和地域センター
開催日時	毎月10日・20日 13:00~15:00
対象者	三和・菊野自治会居住者
H28実績	22回 323人(平均15人)



# 今後の課題

## ● 継続は人なり！

… ボランティアの高齢化、次の担い手の確保

## ● 情報共有を丁寧に

… 運営ボランティアどうし、各サロン運営者どうし

## ● 参加者の固定化

… 幅広い世代(子どもから高齢者まで)の交流を  
障がいを持つ方にも開かれた場へ  
… サロンまでの移動手段の確保



What's some

なにもないけど  
いくつか楽しい!!  
和寒 / わっさむ

WASSAMU



ご静聴ありがとうございました